

The Hero of Ancient Greek

HERACLES

Electrum Ring



Antique Jewellery HERITAGE

Gen Katagiri & Wakako Ishida



『英雄ヘラクレス』

-ヨーロッパ美術の原点とされる古代ギリシャの最高傑作-

芸術とは何か、その本質を的確に定義した古代ギリシャの哲学者の言葉をまさに体現した、古代ギリシャ紀元前5世紀の最高傑作です。エレクトラム（自然金）に驚異的な描写力で描かれた英雄ヘラクレスの顔は、苦難の人生を知性と精神力、人間離れした怪力で見事に乗り越えたヘラクレスの内面を見事に映し出しており、時代を超えて見る者を圧倒します。

紀元前5世紀・古代ギリシャの謎のインタリオ



肉眼では、稚拙な彫りと表現にしか見えないリングです。

それが実は古代ギリシャの最高傑作と言える、傑出した魅力を放つ芸術作品であることを一体誰が一瞬で看破できるでしょうか。

最高神の血を引く高貴な生まれでありながら、不当とも言えるような数々の人智を超えた苦難に直面し、それでも不平を漏らすことなく持ち前の深い知性と並はずれた精神力、人間離れした怪力で乗り越え、最終的には神となったヘラクレスの内面を見事に表現した作品です。

古代の人々は現代より遥かに優れた頭脳を持ち、その辺りから一般人を連れてきても、その天才的な頭脳でちょっとした話題になるであろうほどとも言われています。そのような古代に於いて天才とされる人であれば、その頭脳は如何許りだったでしょう。”心眼”と”神技”によって彫刻された、正に人類の至高と言える作品です。

エレクトラムが採れた古代ギリシャの地で、古代ギリシャ芸術が最盛期を迎えた紀元前5世紀だからこそ生み出された最高傑作です。

古代ギリシャでは、神々の血を引く由緒正しい血統が正当な王としてポリスを治めていました。古代ギリシャ神話最大の英雄ヘラクレスの末裔だった王の物と考えられる、歴史的にも非常に魅力ある宝物です。



『英雄ヘラクレス』
エレクトラム インタリオ・リング

古代ギリシャ 紀元前5世紀
エレクトラム（自然金、琥珀金、山金）
※金属検査機で検査済
フェイス（ベゼル） 1.1cm×1.8cm
重量 4.8g
サイズ 約23.5号

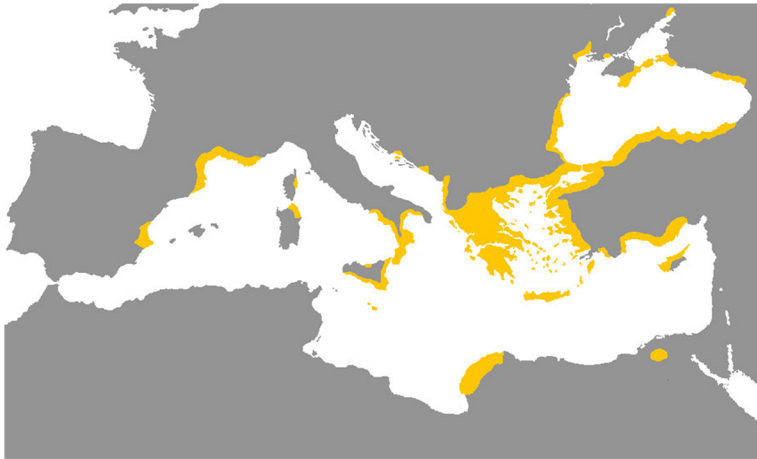
Heritage

ヘラクレス・リングの4大ポイント

- ポイント1 紀元前5世紀という古代ギリシャ芸術の最盛期の作品
- ポイント2 世界最古の鑄造貨幣リュデュアのエレクトラム貨と同じ素材で作られている
- ポイント3 古代ギリシャ神話の英雄で神でもあるヘラクレスがモチーフ
- ポイント4 これまでに見たことのないほどの高い芸術性と驚異的な彫りを兼ね備えたインタリオ

*Photo by
Gen Katagiri*

1. 紀元前5世紀という古代ギリシャ芸術の最盛期の作品



古代ギリシャ語圏

©Fobos92/CC BY-SA 3.0 https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Idioma_griego_antiguo.png

古代ギリシャと一言で言っても、時代や地域ごとに文化的特徴も異なります。古代ギリシャの時代区分は以下で定義されています。

紀元前1,000年頃からおおよそ200年間：暗黒時代

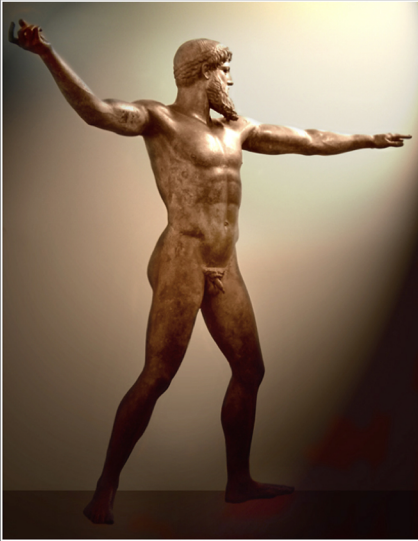
紀元前9～紀元前7世紀頃：ジオメトリック期

紀元前7～紀元前6世紀頃：アルカイック期

紀元前500年～紀元前323年頃：クラシック期

紀元前323年～紀元前30年頃：ヘレニズム期

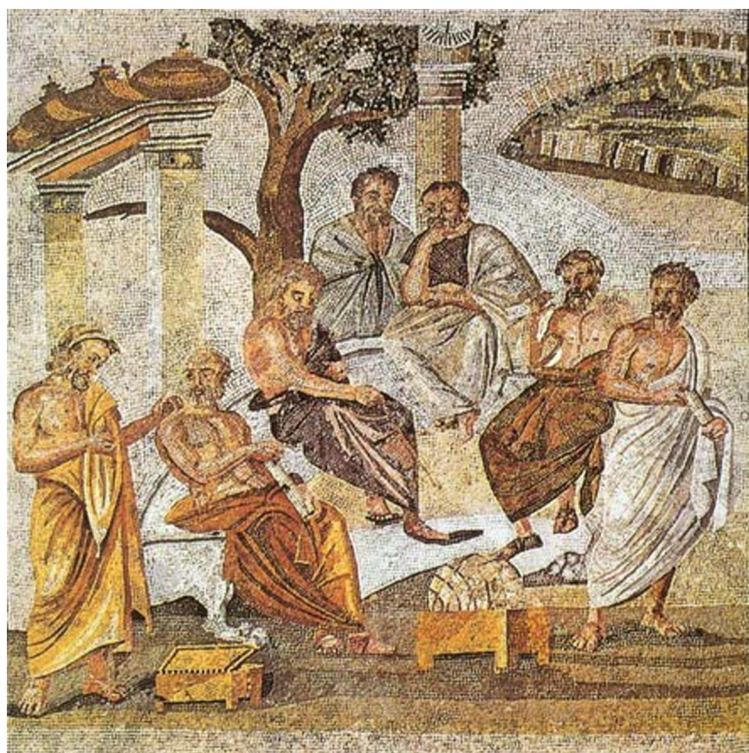
暗黒時代は十分な資料が無く、研究が進んでいません。当時は現代のような国家体はなく、古代ギリシャは都市国家ポリスや部族の集合体として存在しました。地中海を中心に交易がなされ、各地域が影響し合いながら文化が発展しました。

時代区分	アルカイック	クラシック	ヘレニズム
	紀元前7～紀元前6世紀頃	紀元前500～紀元前323年頃	紀元前323～紀元前30年頃
			
	©Pellegrini/CC BY-SA 3.0 https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Netuno19b.jpg	©Sixtus/CC BY-SA 3.0 https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Lo_Spinario.JPG	
文化の影響	先進文化の影響が濃い	ギリシャの独自性が高い	広大な文化を融合・昇華
モチーフ	クーロス（若い貴族の男性） やコレ（乙女）など	神々や英雄など完璧な肉体を持つ像	老若男女の日常や動物などが出現
表現	左右対称性が高い	左右非対称の動作を感じる表現	左右非対称の動作を感じる表現
表情	アルカイックスマイル	ナチュラル	表情は殆ど消えていく
バラエティ	非常に小	中	非常に大

本作は紀元前5世紀、クラシック期に制作されました。美術作品には時代区分ごとの特徴があり、彫刻に関しては左表のようになります。古代ギリシャは近隣にエジプト文明とメソポタミア文明があり、アルカイック期のように古い時代は、これら先進文明の強い影響が見られます。その後、古代ギリシャらしい、古代ギリシャのオリジナルの文化が発達したのがクラシック期です。時代が降り、古代ギリシャ・マケドニア王国のアレキサンダー大王の東方遠征により世界初の世界征服が達成され、ヘレニズム文化が生まれました。征服とは言っても、その統治政方針は文化や慣習の押し付けではなく、その土地ごとの文化・慣習を尊重するものでした。それ故に古代ギリシャと土地ごとの文化が上手く融合・昇華し、花開きました。



ペルシャの戦士とギリシャの重装歩兵
(古代ギリシャ 紀元前5世紀)



プラトン時代のアカデミアを描いたモザイク
(古代ローマ 1世紀)

古代ギリシャ独自の文化が発展したクラシック期の中でも、紀元前5世紀は特に黄金時代とされます。

古代ギリシャ世界は近接する超大国、アケメネス朝ペルシャ帝国の侵略に晒されていました。勢力拡大を図るペルシャに対し、紀元前499年にイオニア半島でポリスの反乱が起きました。これに当時の有力ポリスであったアテナイが介入したことで、ペルシャ戦争に発展しました。

数で圧倒するペルシャ帝国に対し、当時力を付けていたアテナイ、スパルタなどを軸としてギリシャ連合を組み、全ギリシャとして迎撃しました。

紀元前480年にペルシャが襲ってきた際、アテナイはアクロポリスを放棄せざるを得ませんでした。陥落したアクロポリスは徹底的に破壊されました。それを迎え撃ったのがサラミスの海戦です。ペルシャ艦隊の三段櫓船684隻に対し、ギリシャ連合は380隻（内アテナイ180隻）でした。当時は数以上に質が重要な時代であり、見事ギリシャ連合が勝利を収めました。

続く紀元前479年、戦力を整えたペルシャが再び襲ってきました。再びアテナイの主導によってギリシャ連合軍が結成され、プラタイア平原で迎え撃ちました。ペルシャ軍35万人に対しギリシャ連合軍は重装歩兵3万9千弱、軽装歩兵7万1千強という兵力でした。しかしながらギリシャ最強を誇る、右翼側のスパルタ軍だけでペルシャ兵の大半を打ち取りました。ペルシャ軍は20万人以上の戦死者を出す一方、スパルタ軍は兵士4万5千人中で戦死者91名、アテナイ軍も戦死者52名という圧倒的な勝利となりました。

これらの戦いによって、ギリシャ本土からペルシャ勢力は一掃されました。再びペルシャが侵攻してくることはなく、同盟が結成されたギリシャでは平和が訪れました。

この平和な時代によって文化が発展しました。特に同盟の中心となったアテナイは「紀元前5世紀の黄金時代」と呼ばれる最盛期を迎えました。この豊かな時代に哲学者ソクラテスやプラトンも輩出しています。ヨーロッパ美術・文化の原点とされる古代ギリシャ文化が作られたのが、この紀元前5世紀です。

4. 見たことがないほどの高い芸術性と驚異的な彫りを兼ね備えたインタリオ

ヘラクレスは神として信仰の対象にもなりました。古い時代の古代ギリシャは王政でした。しかしながらポリスによって足並みは異なるものの、アルカイック期に貴族政・僭主政、民主主義に移行して行きました。スパルタは最期の王としてエウクレイダスが紀元前222年まで在位していましたが、アテナイは紀元前508年にアルコンとなったクレイステネスの改革によって世界最初の民主主義が始まっています。紀元前5世紀のアテナイは民衆の時代として発展しました。時代が下ると、ヘラクレスの系統を持つとされる王族以外も、信仰によってヘラクレスのモチーフを持つようになっていきました。大人気モチーフとして、様々なヘラクレスの作品が作られています。



『ヘラクレスの棍棒』
ヘレニズム期 紀元前2世紀



『12の功業 ネメアの獅子退治』
ヘレニズム期 紀元前



『獅子座となったネメアの獅子』
古代ローマ 2世紀

同じヘラクレスがモチーフの作品でも、持ち主の個性によって作風はバラエティに富みます。そのものを表現するのではなく、棍棒やネメアの獅子やその皮など、象徴するものを表現したものも多く見られます。単独でその人と示すには余程の表現力が必要です。それもあって象徴となるものが単独で、或いは共に表現されることが多いです。



『英雄ヘラクレス』
クラシック期 紀元前5世紀



『クレオパトラ』
古代ローマ 紀元前1世紀



『高貴な男性』
古代ローマ 4世紀

人物の横顔のみの表現というのかなり珍しいです。本作はその構図も特筆すべきものです。通常はキャンバスに合わせて、綺麗に収まるように配します。それが秀才の作です。本作のように、キャンバス全面に大胆に表現した横顔はこれまでに見たことがありません。秀才の作とは明らかに異なる、天才芸術家ならではの驚くべき斬新な構図です。

[測定条件]

測定装置	SEA1200VX ID_1479
管球ターゲット元素	W
測定日付	2018/ 9/20 13:51

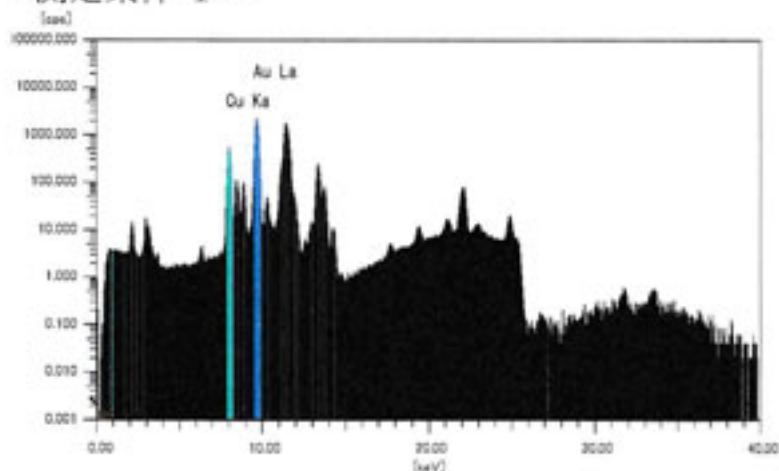
	測定条件 1	測定条件 2
測定時間 (秒)	60	60
有効時間 (秒)	49	50
コリメータ	φ 8. 0mm	φ 8. 0mm
励起電圧 (kV)	40	50
管電流 (μ A)	1000	1000
フィルター	Pb 用	Cd 用
マイラー	加 ⁺ -	加 ⁺ -
雰囲気	大気	大気
ピーキングタイム	1. 0usec	1. 0usec

[定量条件]

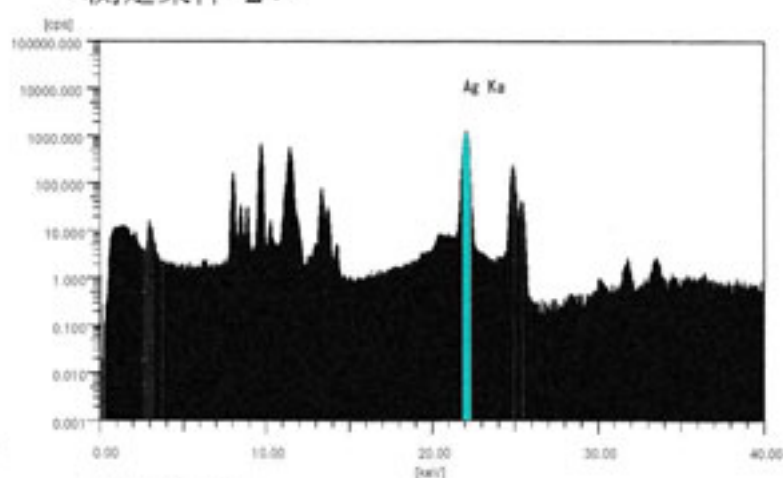
分析手法	バルクFP
------	-------

[X線スペクトル]

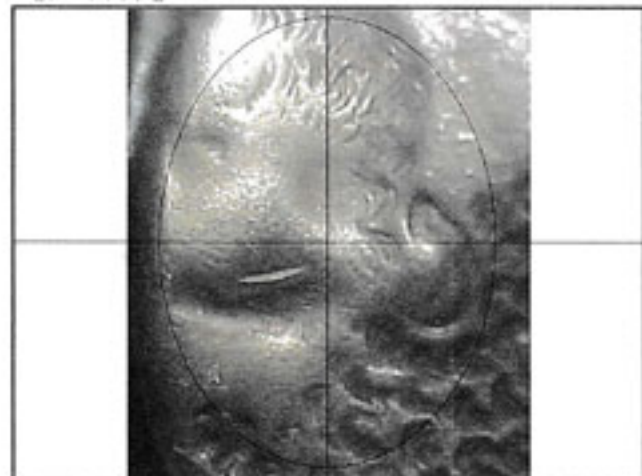
<測定条件 1>



<測定条件 2>



[試料像]



[定量結果]

Cu	8. 82 (wt%)	
Au	41. 77 (wt%)	
Ag	49. 42 (wt%)	

3. 古代ギリシャ神話の英雄で神でもあるヘラクレスがモチーフ



『ファルネーゼのヘラクレス』古代ギリシャ紀元前4世紀の作品の複製（古代ローマ 216年）
ePaul Stevenson/
CC BY 2.0/ https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Hercules_Farnese_3637104088_9c95d7fe3c_b.jpg

ヘラクレスは現代でも欧米ではトップクラスの人気を誇る憧れの英雄です。その人気の理由は比類無き強さです。”強さ”と言っても、ただ神をも凌ぐ世界一の怪力を持っているだけではないことに注意が必要です。

ヘラクレスは子供の本にもなるほど有名です。それ故に重要部分が削ぎ落とされ、怪力があるだけの英雄と言うような単純化された形で知ることが多いです。

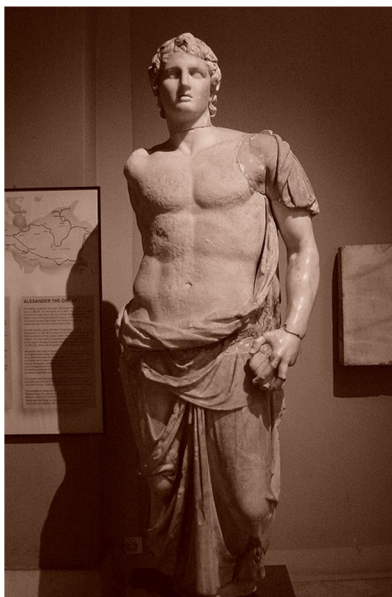
古代世界に於いて、ただ怪力があるだけの男性は高い評価と憧れの対象にはなり得ません。その人物像を知るための逸話は有名な「12の功業」を始め、いくつも存在します。そこから分かるのは、ヘラクレスが比類なき精神力と知力を持っていたことです。真の強さを語る際、単純な身体的強さ以上に精神的な強さや優れた頭脳は重要です。

ヘラクレスは最高神ゼウスと、ミュケナイ王女アルクメネの間に誕生した高貴な生まれです。アルクメネ自身もゼウスの系統です。古代ギリシャの王族は通常神の血筋で、それが王権の正当性を支持していました。当時の王族にとってヘラクレスは遠い存在ではなく、自身と同様の立場にあった”手本にすべき先祖”という意識がありました。

当時も高貴な身分に生まれたから安泰というわけではありませんでした。ヘラクレスは不当とも言えるような試練を、神から幾つも与えられました。それでも不平不満を漏らすことなく持ち前の才能全てを駆使し、常人ならば到底耐えることができないような試練を全て乗り越えました。

「神は、乗り越えられない試練は与えない。他者より遥かに困難な試練が襲ってきたとしても、それを乗り越えるために必要な才能は与えられている。それに屈するか否かは己次第。耐え難い試練だったとしても、不平不満を言うのはお門違いである。他者より優位な立場、他者より優れた才能を持っているのは、それを達成すべき使命があるからこそ。与えられた才能が大きいほど試練も大きい、達成できる事も大きく、他者が成し得ない事も成し得ることができる。何と誉な事であろうか。」と、王族に自覚させるに十分な英雄です。

情報が削ぎ落ち、単純化された後世は万人の憧れの対象となって行きました。しかしながら、古代世界ではまさに王族の憧れの英雄でした。当時のヘラクレスをモチーフにした美術作品を見ると、やはり怪力を強調するというよりも内面を深く掘り下げた作行になっています。本作にも通じていますね。



アレキサンダー大王
（紀元前356～紀元前323年）

古代ギリシャには幾つものポリスや部族が存在しました。王族の祖先となる神はそれぞれ異なります。

一度も負けることなく世界征服を達成したマケドニア王国のアレキサンダー大王は、自身で敵将を討ち取るほど身体的な強さを誇りましたが、それ以上に圧倒的なカリスマ性と比類無き知力を持っていました。2千年以上の時を超えた現代でも、その戦術が世界中の士官学校で教えられるほどの、普遍の頭脳がありました。そのアレキサンダー大王も、神の系統を持っていました。本人も時代が違えば伝説の英雄と化したであろう大王は、先祖とされる大英雄アキレウスに自身を重ね、墓参りなども行っています。

このように現代では想像できないほど、当時の王族は自身の血統を大切に思い、その決断や行動にも大きな影響を及ぼしていました。王族クラスの決断ですから、まさに歴史を動かすレベルのものだったと言えます。



リュディア女王オンファレ

ヘラクレスには母親違いで複数の子供がいました。リュディア女王オンファレとの間にも3人の子供がいます。2人のエピソードとして、ネメアの獅子の皮は有名です。リュディアのエレクトロン貨はライオンがモチーフです。これはリュディアの王族がヘラクレスの血統だからです。その点でも、エレクトロン貨と同じ素材で作られている本作は大変面白いです。

ヘラクレスの後裔、特にディアネイラとの間に生まれた長男ヒュロスの家系の嫡流子孫は「ヘラクレイダイ」と呼ばれます。ヘラクレスの死後、迫害を受けてペロポネソス半島を去ります。それから何代にも渡って苦難を乗り越え、悲願の帰還を果たしました。ヘラクレイダイの帰還は神話の世界で起きた最後の大事件であり、トロイア戦争も挟んだ長期の物語となります。話として面白いか否かが重要な現代人にとっては好みが別れる部分かもしれませんが、当時のギリシャ人にとっては自身の系統を知る上での重要な歴史物語でした。

映画やテレビなどがなかった当時、吟遊詩人による口伝や、1万人以上を収容できるギリシャ劇場などで市民への歴史教育が行われました。ギリシャ悲劇の上演には連続で8時間かかるものもありますが、数世代にも渡る物語だからこそです。

帰還したヘラクレイダイはスパルタ王家、メッセニア王家、アルゴス王家に別れました。この3王家が、ギリシャ神話最大の英雄ヘラクレスの正統な血を引くとされます。メッセニアはスパルタと隣接しており、紀元前743年頃に起きた戦争でスパルタの属国となりました。アルゴスは古くは栄えていたものの、紀元前6世紀以降は近隣のスパルタによって影が薄くなっており、紀元前5世紀はペルシャ戦争への参加を拒否したことで、ギリシャ世界で孤立しました。その後のスパルタとアテナイの戦いではアテナイと同盟を結んだものの、何の役にも立たなかったとされます。この時代にヘラクレスの系統ではないただの貴族が、ヘラクレスの系統である王族を差し置いて本作の着用が許されることはあり得ません。紀元前5世紀とい時代背景から、本作はスパルタの王族のものだった可能性が最も高いです。



レオニダス王と伝わる重装歩兵像
(古代ギリシャ 紀元前5世紀)

©de:Benutzer:Ticinese/CC BY-SA 3.0/ https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Helmed_Hoplite_Sparta.JPG

紀元前5世紀はスパルタ最強の時代でした。スパルタ陸軍は世界最強と言うのが当時の常識で、攻め入ることは自殺行為に等しいさえと見られていました。その最強ぶりは、ペルシャ戦争勝利の最大の立役者と言えるレオニダス王の戦いからも分かります。ペルシャへの準備が整わぬ中、スパルタ重装歩兵300名とギリシャ連合軍7千人を率い、200万人以上とも言われる圧倒的な数のペルシャ軍を、重要な防衛線テルモピュライで迎撃しました。デルポイで「王が死ぬか、国が滅ぶるか。」と御神託を受け、覚悟の上での戦いでした。幅15m程という戦場の地の利を生かし、スパルタ重装歩兵を先陣に少数でも大軍に対して圧倒的に戦いました。ペルシャの損害だけが積み上がっていく状況下、内通者によって迂回路が知られ、レオニダス王は最期の時を迎えました。背後からの攻撃を察知しながらもスパルタ重装歩兵300人は戦場に残り、投降の呼びかけには王が「モーロン・ラベ（来たりて取れ）」と答えました。300人对200万人とされる圧倒的な兵力差にも関わらず、広場での戦いに於いても凄まじい激戦となりました。4度も押し返し、迂回部隊が増援されても四方から押し寄せる敵に対して劣勢の中、槍が折れると剣で、剣が折れると素手や歯で戦いました。あまりの鬼神ぶりにペルシャ

兵は戦意を喪失し、肉弾戦を拒んでしまいました。最後は遠距離からの矢の雨によって全滅しましたが、この日だけでペルシャ軍は戦死者を2万人以上出したとされます。敗れはしたものの、王の奮闘によってギリシャは戦いの準備を整え、翌月のサラミスの海戦で勝利したとされます。ペルシャに完全勝利した翌年のプラタイアの戦いでは、レオニダス王の仇を打たんとスパルタ重装歩兵が鬼神の如く戦いました。こうして平和が訪れました。しかし紀元前404年にアテナイを破り、ギリシャで覇権をとったスパルタは富の流入によって墮落しました。スパルタは贅沢を禁ずる質実剛健な生き方と、スパルタ教育と呼ばれる徹底した教育によって最強の戦士を育てられました。紀元前4世紀に入ると富の流入によって急速に弱体化し、スパルタは覇権を失いました。紀元前5世紀はスパルタにとっても特別な時代なのです。

4. 見たことがないほどの高い芸術性と驚異的な彫りを兼ね備えたインタリオ

ヘラクレスは神として信仰の対象にもなりました。古い時代の古代ギリシャは王政でした。しかしながらポリスによって足並みは異なるものの、アルカイック期に貴族政・僭主政、民主主義に移行して行きました。スパルタは最期の王としてエウクレイダスが紀元前222年まで在位していましたが、アテナイは紀元前508年にアルコンとなったクレイステネスの改革によって世界最初の民主主義が始まっています。紀元前5世紀のアテナイは民衆の時代として発展しました。時代が下ると、ヘラクレスの系統を持つとされる王族以外も、信仰によってヘラクレスのモチーフを持つようになっていきました。大人気モチーフとして、様々なヘラクレスの作品が作られています。



『ヘラクレスの棍棒』

ヘレニズム期 紀元前2世紀



『12の功業 ネメアの獅子退治』

ヘレニズム期 紀元前



『獅子座となったネメアの獅子』

古代ローマ 2世紀

同じヘラクレスがモチーフの作品でも、持ち主の個性によって作風はバラエティに富みます。そのものを表現するのではなく、棍棒やネメアの獅子やその皮など、象徴するものを表現したものも多く見られます。単独でその人と示すには余程の表現力が必要です。それもあって象徴となるものが単独で、或いは共に表現されることが多いです。



『英雄ヘラクレス』

クラシック期 紀元前5世紀



『クレオパトラ』

古代ローマ 紀元前1世紀



『高貴な男性』

古代ローマ 4世紀

人物の横顔のみの表現というのかなり珍しいです。本作はその構図も特筆すべきものです。通常はキャンバスに合せて、綺麗に収まるように配します。それが秀才の作です。本作のように、キャンバス全面に大胆に表現した横顔はこれまでに見たことがありません。秀才の作とは明らかに異なる、天才芸術家ならではの驚くべき斬新な構図です。

インタリオは立体彫刻の一種です。ルネサンスの万能の天才、ミケランジェロは彫刻でも絵画でも有名です。そのミケランジェロは絵画を下に見ており、自身を彫刻家と位置付けていました。2次元の平面的な頭脳しか要らない絵画と比べ、彫刻は3次元で立体処理できる頭脳が必要です。彫刻の方が遥かに難易度は高く、誰にでもは不可能であり、天才を証明するものであるからこそ己を彫刻家としていたのでしょう。

アンティークジュエリーの彫刻には陽刻のカメオと、陰刻のインタリオがあります。カメオが通常の彫刻作品と同等と言えます。角度を変え、肉眼で形を確認しながら彫り進めることができます。一方、インタリオはそれができません。脳内で立体視し、立体処理しながら彫り進める他ありません。女性には分かりやすいカメオの方が圧倒的に人気がありますが、この分かりにくさと知的な面白さが高貴で知的な男性から支持されて来た歴史があります。カメオは現代でも作られています、インタリオは価値を理解できる人が少ない上に、制作にあまりにも高度な技術を要するため、早い段階で制作できなくなっています。



本作は浅い彫りも大きな特徴です。インタリオは技術の無い職人により、表現力の無い浅い彫りになっている場合が多く、豊かな表現力を感じるインタリオは彫りが深いのが通常です。

陰影が付きにくい浅い彫りで、豊かな表現をするのは至難です。カメオだと、ただ実物と同じように忠実に立体を彫刻すれば良いのですが、それとは異なる表現が必要です。光の角度、表面の粗さなど、全てが絶妙に計算されて彫ってあります。



実物はリングサイズの小さなものですが、目元の表現も驚くべきものです。何かを見つめる瞳には、ヘラクレスの深い知性と人間性を感じます。眉毛の一本一本も極めてリアルに彫金されています。表現力と言い、その精緻さと言い、とても人間技とは思えません。古代ギリシャには、こんなことが可能な天才がいたのかと思わず圧倒されます。



作者はこのような状態で作業したはずで、まさに心眼で彫った作品です。そして、見る者にも心眼で見ることを要求する作品です。当時天才の職人がおり、これだけの作品を提供するに値する人物もいたということでしょう。

そこには単純な形を超越した、深淵なる心象世界が存在します。ヨーロッパ美術の原点、古代ギリシャ芸術の極みと呼ぶに相応しい作品であり、人類の最高到達点とも言えるでしょう。永遠の存在へと昇華し、いつまでも、見る資格がある者だけを感動させ続けるのです。

The image shows two ancient Greek philosopher masks, likely made of terracotta, displayed side-by-side. The masks are dark and weathered, with intricate carvings of curly hair and beards. The left mask has a small 'HERITAGE' logo in the bottom left corner. The right mask has the text '古代ギリシャの哲学者' (Ancient Greek Philosopher) in the bottom right corner. Overlaid on the top half of the image is a quote in Japanese.

芸術とは熟練した洞察力と直感を用いた美的な成り行きであり、
絶対的な美の本質は、見る者をどれくらい感動させられるかにある。

古代ギリシャの哲学者

古代ギリシャの哲学者は芸術をこのように定義しています。本作はまさにそれを体現したかのような作品と言えるでしょう・・・。

2022.10.28 Gen Katagiri & Wakako Ishida